

議長を除く全議員で構成される予算特別委員会（今田良治委員長、原裕治・八條範彦・石橋竜史・山内正見各副委員長）において、延べ96人の委員が、平成30年度一般会計予算など60議案について活発な質疑を行い、慎重に審査を重ねました。その審査における主な質疑と答弁を掲載します。

自民党・市民クラブ

地域と連携した子どもの安全対策

子どもが自分の身を守るための学習は、どのようなことを行うのか。

不審者への対応方法などを学ぶ防犯教室や通学路上の危険箇所を描き込む安全意識啓発マップづくりを行っている。

学校における医療的ケアの看護師確保

看護師確保は全市的な取り組みが必要と考えるが、現在の取り組み状況は？

広島県看護協会や看護専門学校等に出向き紹介してもらう等、あらゆる手段を講じて看護師確保に努めている。

広島豪雨災害被災地の復興

教訓伝承・交流拠点施設の検討は、30年度どのように進めるのか。

地域の皆様と対話を重ねながら、施設の活用方策や必要な機能及び規模、設置場所などについて、検討を行う。

量から質への観光施策

入込客数や観光消費額を増やす広域連携での観光振興の取り組みは。

広島都市圏協議会に全市町と民間事業者が参画する観光振興部会を設置し、4つのテーマ別に施策の検討等を行っている。

集合住宅共用部LED照明器具

同器具交換補助事業の見直しをする必要があると思うが、どうか。

集合住宅関係団体等を通じて、今後のLED照明器具交換工事の予定や要望を聞きながら見直しを図りたい。

エネルギーの地産地消

市も「地産地消」を考えるべき。国内の研究事例を把握しているか。

エネルギーの地産地消の取り組みとして、みやまスマートエネルギー株式会社等の事例を把握している。

広島城を第2の観光拠点に！

堀の浄化施設跡地を有効活用し、物販や飲食施設を作つてはどうか。

地域の事業者が合意体を作り、広島城を利用して、広島独自のエリアマネジメントができるのではないかと考えている。

女性消防吏員の活躍に向けて

女性消防吏員の割合を増やすために、どのような取り組みを行うのか。

就職説明会への参加やインターンシップの受け入れ拡大、情報発信強化等にこれまで以上に取り組んでいきたい。



サッカースタジアム

スタジアムの多機能化や周辺を含めた賑わいづくりをどう考えるか。

スタンド下の活用や周辺の魅力の向上などにより、年間を通じて利活用される魅力あるスタジアムとなるよう検討を進める。

スポーツ施設の充実

通年使用できるアイススケートリンクやカーリング場建設の検討を。

専用競技施設が重要な役割を果たすことは認識しているが、競技人口の動向などを見極めながら、慎重に検討する必要がある。

西広島バイパス都心部延伸事業の再開

官民一体で早期再開に取り組んでいく。この機運をどう事業再開に繋げるのか。

経済界の整備要望の声を受け止め、関係者が総力を結集して事業再開の機運をさらに醸成し、国を動かす原動力となるよう取り組む。

西広島駅周辺地区交通結節点整備

自由通路や橋上駅舎の具体的な整備イメージはいつ頃地元を示せるか。

JR西日本が実施設計に着手したところであり、来年度後半に完成予想図などで地元の方々にお知らせしたい。

保育

平成30年度予算の、保育園等の運営費にかかる予算額は？

保育園等運営費の総額は、320億681万5千円で、入園見込児童数で除した一人当たりの額は、月額9万4763円である。

自民党・保守クラブ

知的障害の児童生徒に平等な教育環境を

特別支援学校の就学区域割について、県と協議するべきではないか。

県市が協議し就学区域を分担しており、今後も児童生徒の教育内容に大きな差が生じないよう県と連携を図っていく。

待機児童解消に向けて

小規模保育事業所17園の新設を行うが、公募する地区の選定は。

平成31年4月における地区ごとの保育需要の推計を精緻に行った上で、整備が必要な地区を選定している。

国民健康保険の今後

赤字解消に向けた収納率向上、医療費適正化の見直しはどうか。

口座振替促進等による平成36年度収納率93%の達成と、生活習慣病に対する取り組み等による医療費の適正化を図る。

広島中島線(鶴江工区)、府中祇園線

鶴江工区の今後のスケジュールと府中祇園線沿線のJRとの用地交渉の進捗は。

鶴江工区は平成30年代後半の完成を目指す。府中祇園線は平成30年度の用地取得に向け協議を行っている。

広島西飛行場跡地の活用

交通渋滞や歩行者、自転車に対する安全の対策は。

車道の4車線化等により交通量の増加に対応し、幅の広い歩道の設置や、歩行者と自転車の通行を分離することで、安全を確保する。

東部地区連続立体交差事業見直し

見直し修正案に対する地元の意見をどのように受け止めているか。

説明会の状況や「市の案を受け入れる」との連合町内会の意向を踏まえ、船越地区の理解が得られたものと考えている。

食品ロス削減キャンペーンの実施

製造から賞味期限までの期間の3分の1ルール、商習慣見直しに働きかけを。

昨年、国に3分の1ルールなどの商習慣の見直しを要望した。今後、機会を捉えて、働きかけていく。

ユニタール広島事務所との連携

未だ紛争の続く国や地域の人々のため、より一層の取り組みを求むが。

効果的な事業の実施に向けて、今後ともユニタールと意見交換をしていきたい。

本気で中小田遺跡の整備を

貴重な中小田古墳群の整備を早期に進めるべきではないか。

整備計画図の作成等の取り組みを着実に進め、速やかに整備に着手できるように、文化庁や関係部局等と協議しながら進める。

5Gの早期導入を

5Gが少しでも早く広島地域に導入されるよう、どう取り組むのか。

各地での実証試験の結果や通信事業者、サービス提供事業者の動向等の情報収集に努めていきたい。

教育

個別指導と全体指導についてどのように考えるか。

学校においては、個別指導と集団指導の特性をとらえ、バランスよく児童生徒を指導することが重要だと考える。



本文中に赤表記した用語を解説しています

事業主体となる、定員が6～19人の比較的規模

期限までの期間を3等分して、小売店への納品の期間とし、小売店は3分の2を過ぎれば店頭で商習慣。

標準化が進められている次世代の通信技術。高接続可能端末数の増加(現状の100倍以上)、信頼性、省電力、低コスト等が可能になると考

●インフラメンテナンス

生活や産業の基盤となる公共設備を維持、整備、保守すること。

●ひろしま平和の歌

広島市を世界平和の原点にしようという願いから昭和22年8月6日に行われた、「第1回広島平和祭」で合唱され、以後、昭和25年を除いて、毎年平和記念式典で歌い継がれている曲。

●広域都市圏地域共通ポイント制度

ICカードを活用して圏域内での買い物、イベント参加、ボランティア活動など様々な行為に対しポイントを付与し、その貯まったポイントにより、圏域内で商品やサービスの購入をしてもらう制度。

●会計年度任用職員制度

非常勤・臨時職員の適正な任用・勤務条件を確保することなどを目的とした地方公務員法、地方自治法の改正を受け、平成32年4月1日より実施される制度。

●広島・長崎講座

被爆者の「他の誰にも同じ思いをさせてはならない」というメッセージに込められた平和への「思い」を学問的に整理・体系化し、普遍性のある学問として若い世代に伝えるため、世界の大学での開設・普及に取り組んでいる。

●財政調整基金

社会経済情勢の変動があった場合の年度間の財政調整や災害などの不測の事態に対応できるよう、財政の健全な運営に資するために設けている基金。